

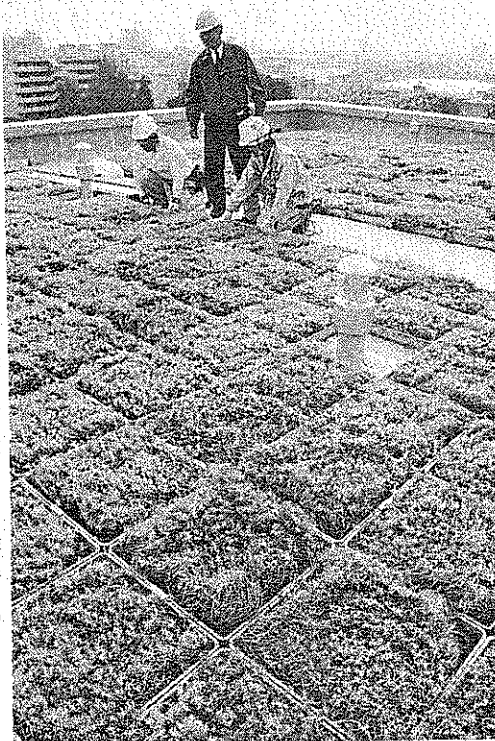
み、農業産出額も二年連 月三十一日から最低賃金は鉄鋼の十二円、最も小
 続で減少し、「景気拡大 金を時給で十四円引き上 さいのは小売りの五円。
 の波及効果が届いていな げ、六百九十七円とした 各業種の新しい最低賃金
 い(県統計課 状況だ。 ことに伴う措置。産業別 は次の通り。

自立へ

動き出す中小企業

マンション屋上のパネルに敷き詰められた植物は、メキシコマンネングサ。触れると、ひんやりした感触が快い。

気候の変化に対する耐久性に優れている上、水やりの手間が年に数回で済むメキシコマンネングサが選ばれた。



新築マンションの屋上に敷き詰める緑化パネル。断熱効果で冷房の電気代などが大幅に下がるという＝尼崎市

連携

「事業が成り立つことで、大学との連携で自信を持てた」と北村公一社長(五社)は振り返る。

五世帯の十八人が植え付けたい。北村社長は、連携の成果に自信を示す。

五社は規模も経営上の課題も似通っている。「一方

マンション屋上のパネルに敷き詰められた植物は、メキシコマンネングサ。触れると、ひんやりした感触が快い。

「事業が成り立つことで、大学との連携で自信を持てた」と北村公一社長(五社)は振り返る。

五世帯の十八人が植え付けたい。北村社長は、連携の成果に自信を示す。

五社は規模も経営上の課題も似通っている。「一方

とはいえ、実際に何を植えたらよいのか。植物に関する知識はなく、神戸大、東海大に共同研究を依頼。

知恵出し合い経営改革

改革の意欲は十分でも、中小企業が単独でできることは人員や資金面で限界がある。同じ志を持つ相手を

兵庫県立大学 佐竹隆幸教授に聞く

中小企業の自立に向けた

企業の経営資源は人、モノ、金、それに技と知恵。上したことになる。景気回復といわれるが実

経営革新とはこうした資源

でセンターを整備した。敷地面積約四万三千平方。基幹設備のゴム精

大

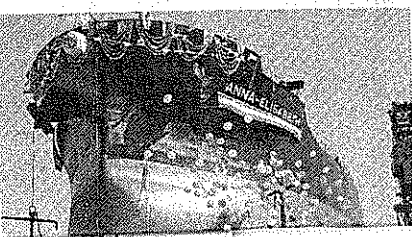
なと十棟を建てた。総延べ床面積は約三万五千平方。総投資額は約二百億円。

大丸創を記念し考えるフ

本年度から、同センターの技術を基に高性能の製品を「プライムスター」シリーズとして販売し収益力を高める。すでに大型加工機械向けや食品搬送用などの産業用ベルトを発売している。また、センターの技術はインドネシアやタイなど海外の生産拠点でも活用する。

多々地域

川崎造船神戸工場 ばら積み船進水



川崎造船(神戸市中央区)は三十一日、パナマの海運会社向けに建造した大型ばら積み運搬船

予定より

級